

(案)

上尾市いじめ問題再調査委員会委員報酬・費用弁償支払基準

上尾市いじめ問題再調査委員会委員報酬・費用弁償の支払基準については、「いじめの重大事態の調査に係る第三者委員会委員等の推薦依頼ガイドライン(平成30年9月20日日本弁護士連合会策定)」に基づき、次のとおりとする。

1 報酬の支払対象

①会議等における委員間での協議・検討

- ・日額として、委員長16,000円、委員15,000円
- ・会議の開催の日とは別の日に記者会見の開催があった場合は、支払い対象とする。

②関係者からの聴取及びアンケート実施並びに資料精査等の事実調査

- ・日額として、委員長16,000円、委員15,000円
- ・会議毎に提出される「従事報告書」を基に支払う。
- ・2時間以上(※1)従事した際に日額1日分として支払う。各会議間で日額1日分を上限とする。

③報告書等の文書起案作業

- ・日額として、委員長16,000円、委員15,000円
- ・会議毎に提出される「従事報告書」を基に支払う。
- ・作成した報告書等の文書の累積枚数が原稿用紙10枚相当(※2)に達した際に日額1日分として支払う。なお、委員会終了時に10枚相当に達しない端数については、5枚相当以下は切り捨て、6枚相当以上は切り上げとする。

※1 経済産業省資料「謝金の標準支払基準」の改定について(平成27年3月6日各府省等申し合わせ)を参考とした。

※2 原稿用紙(日本語で400字詰めのもの)1枚当り単価を1,500円(※1)とし日額換算。

委員長日額：16,000円÷単価1,500円＝約10.6枚

委員日額：15,000円÷単価1,500円＝10枚

原稿用紙以外の用紙を用いる場合は、日本語400字詰め原稿用紙に換算して単価を適用する。端数については、200字未満は切り捨て、200字以上は切り上げとする。ただし、全体で200字未満の場合は1枚とみなす。

2 費用弁償の支払対象

- ・会議等における委員間での協議・検討、記者会見、関係者からの聴取及びアンケート実施
- ・日額として、委員長・委員ともに1,000円
- ・オンラインにより出席した場合は、費用弁償を支払わない。